

カムチャツカ半島付近の地震による津波について（第2号）

津波注意報を発表中

鹿児島県の種子島熊野で0.3m、宮崎県の宮崎港で0.3mの津波を
観測

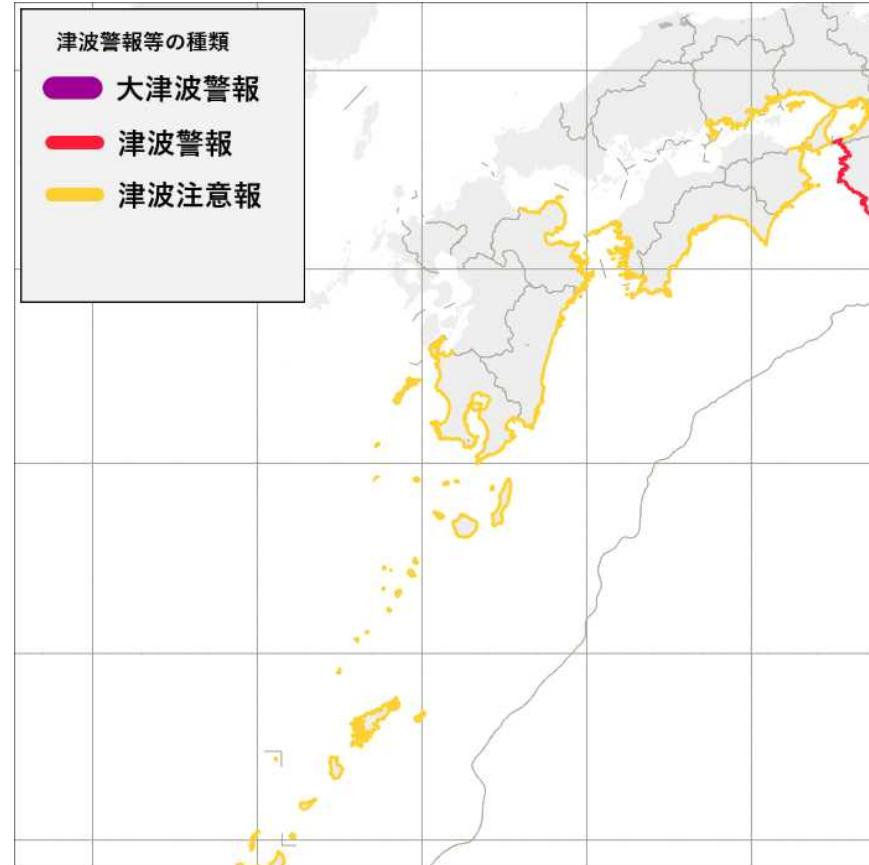
本件に関する問い合わせ先：平日（日中）	福岡管区気象台地震火山課	092-725-3609
夜間・休日	福岡管区気象台地域火山監視・警報センター	092-725-3606

津波注意報を発表中

大分県瀬戸内海沿岸
大分県豊後水道沿岸
宮崎県
鹿児島県東部
種子島・屋久島地方
奄美群島・トカラ列島
鹿児島県西部

津波を観測中！
海の中や海岸から離れて！

7月30日09時40分発表



最新の情報は、以下のページでご確認ください。
津波警報等の発表状況：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>

津波の観測状況

【主な観測点の観測値】

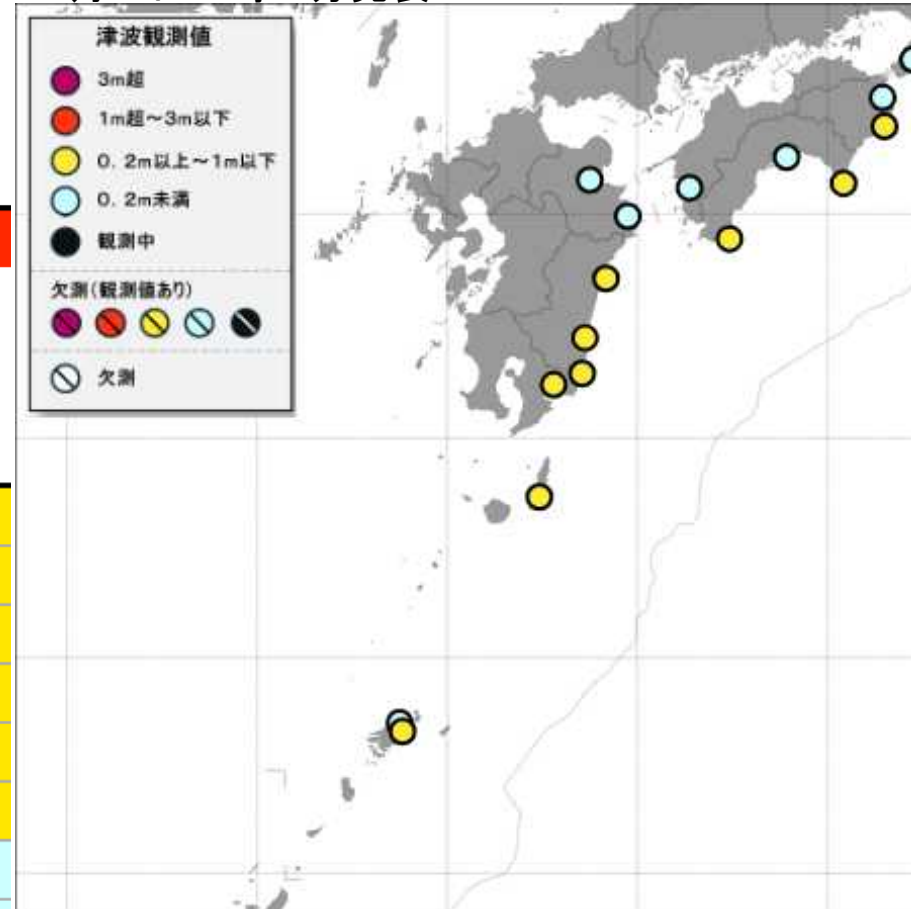
全国最大

観測点名	該当予報区名	第一波 到達時刻	これまでの 最大波	高さ
久慈港	岩手県	--	30日13:52	1.3m

九州・山口県

観測点名	該当予報区名	第一波 到達時刻	これまでの 最大波	高さ
種子島熊野	種子島・屋久島地方	30日14:48	30日14:57	0.3m
宮崎港	宮崎県	30日12:54	30日15:12	0.3m
奄美市小湊	奄美群島・トカラ列島	30日13:19	30日15:16	0.2m
志布志港	鹿児島県東部	30日13:11	30日13:31	0.2m
日南市油津	宮崎県	30日12:56	30日13:13	0.2m
日向市細島	宮崎県	30日12:40	30日13:19	0.2m
奄美市名瀬	奄美群島・トカラ列島	--	30日15:24	0.1m
佐伯市松浦	大分県豊後水道沿岸	30日13:05	30日13:38	0.1m
別府港	大分県瀬戸内海沿岸	30日13:41	30日14:27	0.1m

7月30日15時36分発表



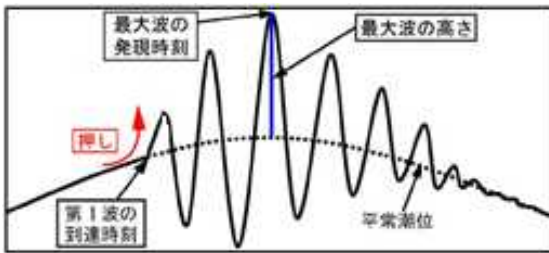
最新の情報は、以下のページでご確認ください。

津波の観測状況：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>

津波波形図

（7月30日15時40分現在）

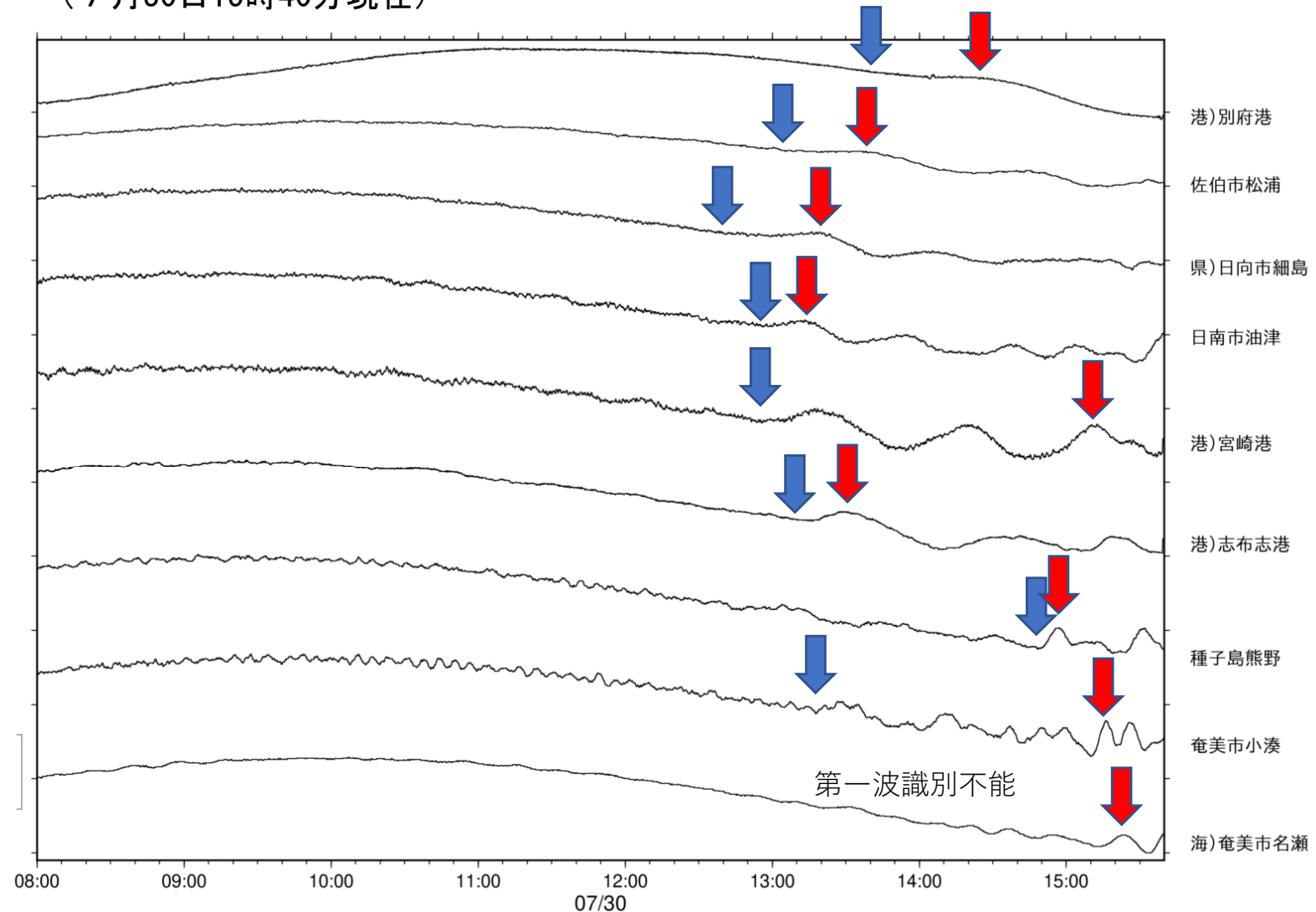
 第一波到達時刻
 これまでの最大波



津波の観測値の測り方

第一波の向きは、下方向が「引き」、上方向が「押し」となります（左図の例の場合は「押し」となります）。「津波の高さ」とは、津波がない場合の潮位（平常潮位）と、津波による潮位との差のことです。

1m



最新の情報は、以下のページでご確認ください。

津波の観測状況：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>

防災上の留意事項

- 津波が発生しており、海の中や海岸付近は危険。
- 海の中にいる人はただちに海から上がり、海岸から離れて。
- 潮の流れが速い状態が続くので、注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないように。

津波の推移の見通し

- 今回の地震の周辺で発生した過去のほぼ同規模の地震による津波の観測記録から、少なくとも1日程度以上は津波の高い状態が継続する見込み。
- 津波が満潮と重なると潮位が現在より上昇する可能性。

【参考】満潮時刻

【各観測点の満潮時刻】

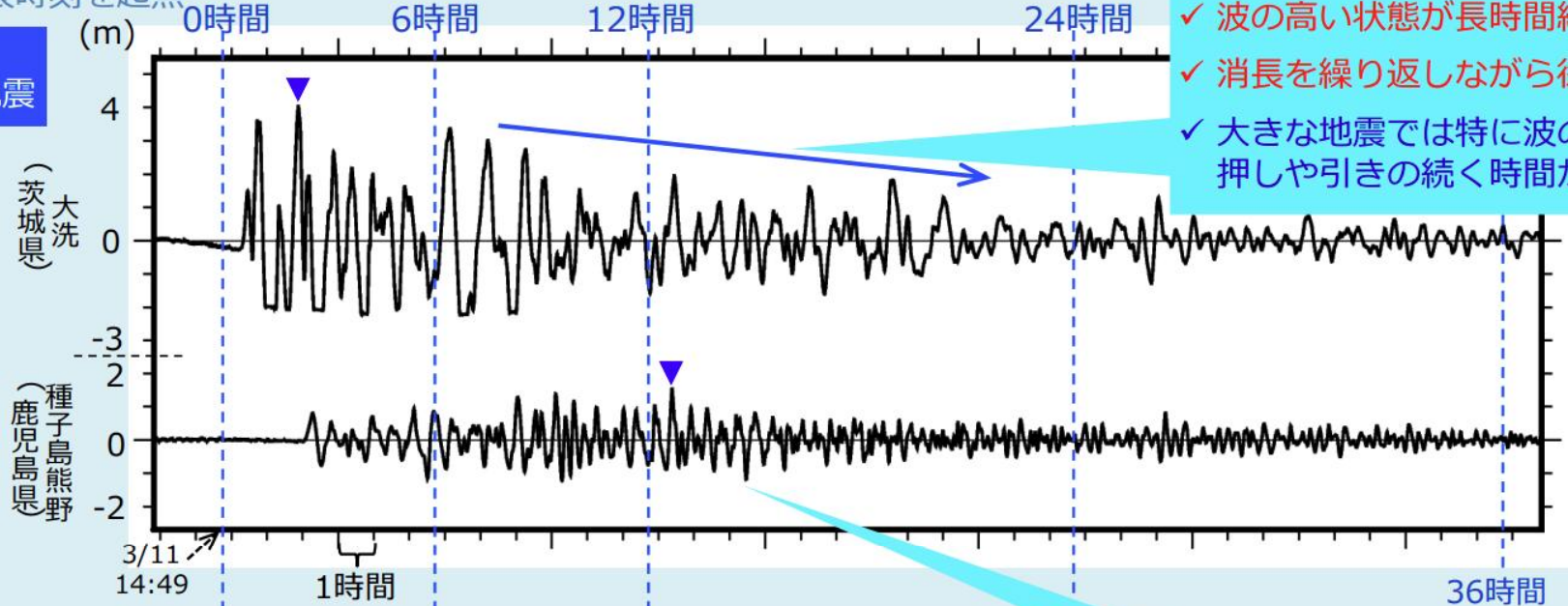
※津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要です。

観測点名	該当予報区名	満潮時刻
大分	大分県瀬戸内海沿岸	30日23時57分頃
別府港	大分県瀬戸内海沿岸	30日23時57分頃
佐伯市松浦	大分県豊後水道沿岸	30日22時39分頃
日向市細島	宮崎県	30日21時41分頃
日南市油津	宮崎県	30日21時39分頃
宮崎港	宮崎県	30日21時33分頃
南大隅町大泊	鹿児島県東部	30日22時16分頃
志布志港	鹿児島県東部	30日21時45分頃
種子島西之表	種子島・屋久島地方	30日22時18分頃
種子島熊野	種子島・屋久島地方	30日21時47分頃
中之島	奄美群島・トカラ列島	30日22時27分頃
奄美市小湊	奄美群島・トカラ列島	30日22時08分頃
奄美市名瀬	奄美群島・トカラ列島	30日22時29分頃
枕崎	鹿児島県西部	30日22時37分頃
鹿児島	鹿児島県西部	30日22時34分頃
阿久根	鹿児島県西部	30日23時10分頃

【参考】長時間継続する過去の津波観測事例

津波警報等の発表時刻を起点

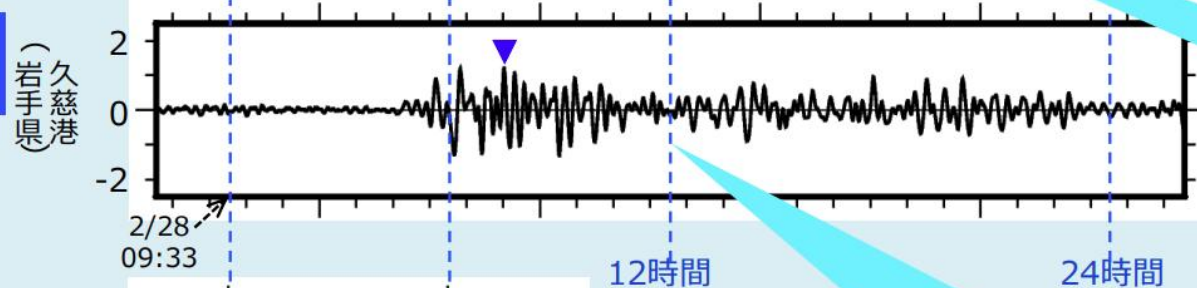
2011年
東北地方太平洋沖地震



- ✓ 波の高い状態が長時間続く
- ✓ 消長を繰り返しながら徐々に減衰する
- ✓ 大きな地震では特に波の周期が長く、押しや引きの続く時間が長い。

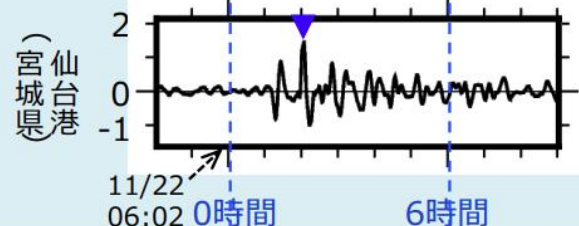
2010年02月27日
チリ中部沿岸の地震

※本事例では、日本への津波の到達予想時刻の数時間前に大津波警報を発表した。



- ✓ 長時間経ってから津波の高さが最大となる場合もある
- ✓ 減衰せずに同じくらいの高さの津波が継続する場合もある

2016年11月22日
福島県沖の地震



- ✓ 各国沿岸で反射・散乱を繰り返して日本へ到達するため、最初の波の到達後も、後続波が次々と襲来する

- ✓ 津波襲来中に複数回の満潮時刻を迎える場合もある

▼ : 最大波出現タイミング